

8 スイスの3つの田舎の村で過ごすハイキング 11日間

カンデルシュテーク、レッチェンタル、アニヴィエ谷に各3連泊



アンネンヒュッテからの掃り道(レッチェンタル)

- ◇ `アルプスの宝石、エッシネン湖をたたえるカンデルシュテークから`羊飼いの道、ゲンミ峠をあるく
- ◇人里離れたなまはげの村レッチェンタル 谷奥のファーフラールアルプからアンネン小屋へのハイキング
- ◇昔ながらのスイスの息づくアニヴィエ谷に点在する村、ズィナールではモアリ湖東岸 `エーテルワイスの道、へ

旅行期間	旅行代金
7/10(金)	¥488,000

※燃油付加運賃28,400円、現地空港税6,130円、空港施設使用料・保安料2,660円(成田)、3,100円(関西) 国際観光旅客税1,000円 が必要です。(変動あり)

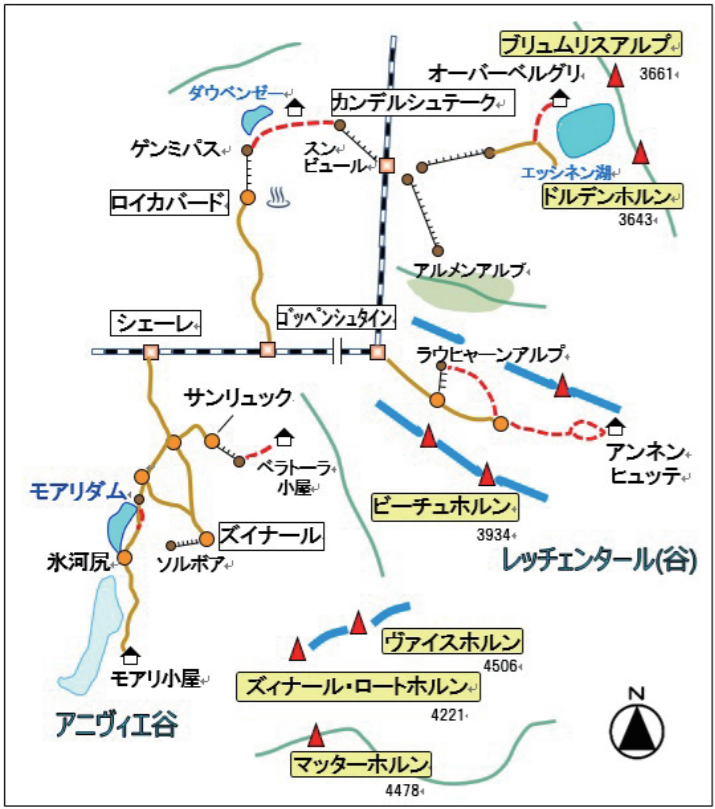
- 定員/12名定員(最低実施人員6名) ■ 締め切り/6月10日(水)
- 出発空港/成田空港・関西空港 ■ 1人部屋追加料金/¥68,000
- 健脚度/ 1日5時間以下のハイキング。標高差500mの登り900mの下り程度
- 添乗員/初日のチューリッヒ空港から帰国日のジュネーブ空港まで同行

カンデルシュテーク(1174m)

ヘルナーオーバーラント地方の標高1174mに位置する人気山岳リゾート地。村からは標高3661mの名峰ブリュムリアルプや、標高2,502mのピーレによるダイナミックな景観が360度広がっており、雄大な自然を感じることができる。四方をアルプスの山々に囲まれており、人口は約1200人ほど。村には「シャレー」と呼ばれる伝統的な木造建築の山小屋が点在している。湖水がエメラルドグリーンに美しく輝くエッシネン湖を含むカンデルシュテークの一部地域は、世界遺産の「アルプス・ユングフラウ・アレッチ」に承認されている。



ブリュムリス山群に囲まれたエッシネン湖



旅程表

日次	都市	時刻	摘要	食事
7月10日(金)	成田・関空発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発 チューリッヒ着 カンデルシュテーク着	午前 夕刻 夜	空路 ヨーロッパ1都市を経由してチューリッヒへ【時差：7時間/所要時間：約15時間】 専用車でヘルナーオーバーラント地方の山村、カンデルシュテークへ(約1時間20分) ホテル着 カンデルシュテーク泊	機 機 ×
7月11日(土)	カンデルシュテーク	午前 午後	ロープウェイでウンテラルメ上駅(1725m)へ アルメンアルプの散策 眼下にカンデルシュテークの村 ブリュムリスアルプ連峰の眺望 午後、自由見学 カンデルシュテーク泊	B ×
7月12日(日)	カンデルシュテーク	午前	リフトでレーガー駅(1682m)まで上り、エッシネン湖へ 湖では放牧された牛たちがお出迎え ハイキング 【↑↑300m/3時間】エッシネン湖のほりをあるく、オーバーベルグリへの周遊ハイキング ブリュムリスアルプ(3661m)フリュンデンホルン(3203m)ドルデンホルン(3643m)を眼前に鉢の底をあるく カンデルシュテーク泊	B ×
7月13日(月)	カンデルシュテーク ロイカバード ゴッペンシュタイン レッチェンタル	午前 午後	ロープウェイでスンピュール上駅(1934m)へ ハイキング 【↑540m↓136m/3時間】 ゲンミ峠 ヘルン州とヴァリス州の境界を越えロイカバードへ あるきやすいゆるやかな道を行き、シュヴァーレンバッハの山小屋で昼食 高山植物に囲まれた湖ダウベンゼー をへて、 ゲンミバス上駅(2314m)へ ロイカバード到着後、列車とバスでレッチェンタルへ レッチェンタル泊	B ×
7月14日(火)	レッチェンタル	午前 午後	ブラッテンからバスに乗り、ロープウェイでラウヒヤーンアルプ展望台(1969m)へ トレッキング 【↑↓336m/登り50分、下り2時間】 谷奥のファーフラールアルプ(1763m)へ ブライトホルン(3785m)ピーチュホルン(3934m)の展望と高山植物散策 ファーフラールアルプからバスでホテルへ レッチェンタル泊	B ×
7月15日(水)	レッチェンタル	午前 午後	ブラッテンからバスに乗り、谷奥のファーフラールアルプ(1763m)へ トレッキング 【↑↓603m/登り2時間45分、下り2時間】 最奥の山小屋、アンネンヒュッテまでの往復 ヒュッテで休憩後、ラング氷河を展望し下山 ファーフラールアルプからバスでホテルへ レッチェンタル泊	B ×
7月16日(木)	レッチェンタル発 シエーレ ズィナール着	午前	バスと列車でアニヴィエ谷・ズィナールへ(約2時間30分) 到着後、自由見学 *ご希望の方は隣の村グリメンツにご案内します ズィナール泊	B ×
7月17日(金)	ズィナール	午前 午後	バスで美しいコバルトの氷河湖、モアリ湖(2250m)へ ハイキング 【2時間】モアリ湖畔東岸 エーテルワイスの道 をあるく モアリ氷河の眺望とエーテルワイス、エンチアン、マンテマの散策 バスでホテルへ ズィナール泊	B ×
7月18日(土)	ズィナール	午前 午後	バスでサン・リュックへ ロープウェイでティニューサ展望台(2180m)へ ハイキング 【↑↓166m 登り35分、下り25分】 ペラトール小屋(2346m)までの往復ハイキング マッターホルン(4478m)を望む *小屋でランチも楽しめます バスでホテルへ ズィナール泊	B ×
7月19日(日)	ズィナール発 ジュネーブ発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発	朝 午前	専用車でジュネーブ空港へ(約3時間) 空路 ヨーロッパ1都市を経由して帰国の途へ【時差：7時間/所要時間：約14時間30分】 機中泊	サ 機
7月20日(月)	成田・関空着	朝	お疲れ様でした! 【旅程表のマーク】：B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食、サ=サンドイッチなどのお弁当 【利用予定航空会社】：スイス・インターナショナル・エアラインズ、KLMオランダ航空、ポーランド航空、フィンランド航空、スカンジナビア航空 他 【利用予定ホテル】：<カンデルシュテーク>ヴィクトリア <レッチェンタル>エーテルワイス、ネストウントピーチュホルン <ズィナール>オイローバ	機

レッチェンタル(1542m)

「なまはげ」のお面と岩峰ピーチュホルンの谷レッチェンタルは、ヴァレー州ローヌ谷の村で総延長約27kmのローヌ谷の北側にある谷の中で最大の谷である。ロンザ川沿いに集落が点在し古い木造のシャレーが並び秘境の地。リゾート地が増えているスイスのなかで、いまだに昔ながらの山里のたたずまいを残す。この谷の主役であるピーチュホルン(3934m)の壮大さと、花々が最高の組み合わせで、ファーフラールアルプ(バス停を下りると巨大ななまはげの像)からアンネンヒュッテまでは、今ツアーで1番あるくコース。



なまはげのモニュメント



レッチェンタルの村

ズィナール(1675m)

ヴァレー州アニヴィエ谷に位置するスイスの村。となりのグリメンツとともに、木造建築の家々のバルコニーは主にゼラニウムの花で飾られている。南約5kmの場所にはモアリダムとモアリ湖があり、湖の周辺はハイキングコースも整備されており、高山植物の散策やモアリ氷河の眺望を楽しめる。この辺はスイスの他の町と比べるとハイカーは少なく、日本人に会うことも稀。谷のまわりには4000m級の山々がたたずみ、ピスホルン(4153m)ヴァイスホルン(4505m)ズィナールルートホルン(4221m)オーバーガールホルン(4063m)など展望台からのぞむことができる。この昔ながらのスイスの山の生活が息づいた、静かな村でゆっくり過ごすことがお勧め。



ペラトール小屋(2346m)

スホルン(4505m)ズィナールルートホルン(4221m)オーバーガールホルン(4063m)など展望台からのぞむことができる。この昔ながらのスイスの山の生活が息づいた、静かな村でゆっくり過ごすことがお勧め。